

走ることが好きでやめられないです！

佐々木 裕也 さん



ささき ゆうや さん / 昭和60年7月生まれ
北海道教育大学卒業後、津別町役場に勤務 / 共和

青春

くろーずあっぷ

今年の4月から津別町役場に勤務している佐々木裕也さんにお話を伺いました。

現在、保健福祉課で生活保護や高齢者支援に関する業務を担当。職場の雰囲気は、「明るく、活気があって町民の人達が入りやすい雰囲気」と話してくれました。

佐々木さんは北見出身で、北見北斗高校卒業後、北海道教育大学旭川校へ進学。中学時代から陸上を始め、高校、大学でも陸上部に所属。今でも趣味として走ることが好

きで、「1回で10キロは走る！」と話していました。

最近の出来事で印象深いことは、4月1日の大雪だそう。初出勤日でもある日に、大雪の中を歩いて出勤していたところ佐藤多一町長が運転する車に乗せてもらい一緒に出勤したのだそうです。

今後の目標は、「早く仕事に慣れ仕事ができるようになりたい。私生活ではマラソンの大会に出て結果を出したい。」と終始笑顔で話してくれました。

温故知新

【361】

仕事一筋
体力が勝負

小野 良平 さん



おの りょうへい さん / 昭和6年栃木県で生まれる。/
妻 妙子さんと2人暮らし / 76歳 / 達美在住

幼い頃、親の入植で栃木県から小清水町に移り住むが、農家の生活はとても貧しく、厳格な父には何かあると直ぐに火鉢で叩かれた。10キロほど離れた浜小清水の学校へは兄たちに背負われて通った思い出があり、当時は訓練だからと、山で薪を集めたり木の実から油を採ったりさせられた。

卒業後は、服の仕立屋で3年ほど働くが、訳あって菓子店で働く弟とお互いの仕事を交換することになり、その後は菓子屋の機械を扱う職人として札幌、帯広、旭川などで指導をしながら、北見を経

健康いきいき

もしもの時の連絡先は？

津別町にはたくさんのお年寄りが住んでいます。一人暮らししている方が何人いるかご存じですか？

津別町の人口約6100人のうち、約340人が65歳以上で一人暮らしをしています。このようなお年寄りの方々が、安全に一人暮らしを続けられるように、日々さまざまな職種の人達が活動しています。

定期的にお年寄りの家に伺って元気な様子を確かめることも活動の一つですが、この時事故や病気で動けない、話せないお年寄りを発見する時があります。このような緊急時に、家族がどこに住んでいるのか、連絡先はどこなのかが分からなければ、病院へ運ぶときや治療などにも支障が出てきます。

もしもの時に備え、一人暮らしのお年寄りはもちろんですが、家族と暮らししている方も元気なうちから連絡先を決め、いつも見えるところに張ったり、自分以外の人も分かるようにすることが大切です。

- ・ 連絡先の例
- ・ 自分の名前
- ・ 生年月日
- ・ かかりつけの病院・電話番号
- ・ 第一連絡先の相手氏名
- ・ その人の住所・電話番号
- ・ その人の勤め先・電話番号
- ・ 第二連絡先の相手氏名
- ・ その人の住所・電話番号
- ・ その人の勤め先・電話番号
- ・ 右記以外の必要と思われること

その他大切なこととして、入院後必要となる健康保険証、現金、通帳、印鑑などは自分以外の人（家族や連絡相手など）でも持参できるように保管方法を工夫しましょう。



暮らしを支える 税

町税の納付は口座振替制度のご利用を

町の税金は、北見信金津別支店（役場派出所・本店・支店）、網走信金津別支店、津別農協、北洋銀行美幌支店、道内全てのゆうちょ銀行（郵便局）で納付することができます。納付忘れがなくなります。「日中は仕事で金融機関に行くことができない」「納付をつい忘れてしまつた」方は、口座振替制度のご利用をぜひお勧めします。

この制度を利用すれば預金口座から振替によって納付することができますので、金融機関に行く手間が省け、納付忘れもなくなりとても便利です。手続きはとても簡単です。手続きは、口座振替をする口座の印鑑、預金通帳と納税通知書を持参して町内の各金融機関で手続きをしてください。振替口座の変更がなければ毎年手続きをする必要はありません。なお、口座振替の手続きをされた日によっては、直後の納期限に間に合わない場合がありますので、手続きの際には金融機関に確認をお願いします。

5月は固定資産税第1期、軽自動車税全期分の納付月です。納期限は6月2日（月）です。